

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-①市民目線に立った窓口サービスの構築

実施計画シート							
No.	1	取組項目	窓口サービスの充実・事務改善				
所管課	企画調整課・市民課		関係課	保険医療課、高齢福祉課、障がい福祉課、税務課、総務課、窓口業務関係課			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 窓口で提出する書類の簡素化や市民への効率的な案内方法等について、充実、事務改善を図る。 死亡届に伴う各種手続きについて、事前予約制による職員派遣型ワンストップ（※）窓口として、おくやみ窓口を設置する。 						
期待される効果	窓口業務の見える化と効率化により、待ち時間を減少させる。複雑な手続きが座って落ち着いた環境で出来る。高齢の遺族も安心して手続きが出来る。						
計画年度		R2	R3	R4	R5	R6	
実施項目と計画	①窓口業務のあり方の検討						
	対象となる窓口業務の洗い出し（庁内調査）		準備	実施	実施		
	他市の状況調査		準備	実施			
	窓口業務のあり方の検討・改善			準備	実施	実施	
	②おくやみ窓口の設置						
各業務の対応時間確認、連携方法の検討、業務フロー決定		実施					
設置場所・設備関係の調査 設備の設置		実施					
おくやみ窓口の運用			実施				
目標指標	数値目標	見直しを検討・改善した窓口業務数	—	—	1	2	2
		おくやみ窓口の設置	90%	100%	—	—	—

進捗管理シート						
R3年度 実施状況	上半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 他市の状況等の分析 【②おくやみ窓口の設置】 利用者アンケートの実施	実績	【①窓口業務のあり方の検討】 他市の状況調査 【②おくやみ窓口の設置】 利用者アンケートの実施、ワーキング会議の開催（改善点の洗い出し・試行運用状況の分析等）、本格稼働、広報の実施	
	下半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 他市の状況等の分析、対象となる窓口業務の洗い出し（庁内調査） 【②おくやみ窓口の設置】 おくやみ窓口の運用状況の検証	実績	【①窓口業務のあり方の検討】 対象となる窓口業務を検討していくため、先進事例の調査を実施 【②おくやみ窓口の設置】 ワーキング会議の開催（運用状況の確認、インターネット予約の開始時期の決定）、インターネット予約の開始	
実施結果の 自己評価	評価	【①窓口業務のあり方の検討】 他市の取組状況を調査し、今後の取組の参考とした。 【②おくやみ窓口の設置】 インターネット予約の開始により遺族の利便性を向上させた。				
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)
未達成の原因と今後の取組						
—						
今後の方向性	継続	コメント	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口サービスを充実させていくため、窓口業務の事務改善に向けた取組を進める。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標		III 妥当性	

「資料 1-2 評価シート」で評価してください。

※ワンストップ…1カ所の窓口カウンターで手続きをすること。

令和3年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）	
令和3年度上半期の 取組実績	【①窓口業務のあり方の検討】 他市の状況調査：窓口サービスに関する事務改善について、他市で実施している先進事例の調査を行った。
	【②おくやみ窓口の設置】 ・令和3年5月：おくやみ窓口に係るワーキング会議の開催（改善点の洗い出し、試行運用状況の分析（業務の流れの見直し・4課以外の手続きの連携方法等）、本格稼働日の決定） ・令和3年6月から本格稼働 9月末現在利用件数…65件 ※利用率(利用件数/死亡届件数) = 65件/290件 = 22.4%
	・開設に係る広報の実施 ・「キラリ☆亀岡おしらせ」掲載 ・ホームページ・SNSで情報発信 ・おくやみ窓口案内チラシの配架・配布 市役所エントランス・市内葬儀会社 自治委員会・民生委員児童委員協議会
令和3年度下半期の 取組実績	【①窓口業務のあり方の検討】 ・事務改善の対象となる窓口業務について検討していくため、他市で実施している先進事例の調査を行った。
	【②おくやみ窓口の設置】 ・令和4年2月 おくやみ窓口に係るワーキング会議の開催（運用状況の確認、インターネット予約の開始時期の決定） ・令和4年3月 インターネット予約の開始 3月末現在実績 2件
	《令和3年度おくやみ窓口実績》 利用件数…226件 ※利用率(利用件数/死亡届件数) = 226件/948件 = 23.8%
今後の課題	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口サービスの充実や窓口業務の事務改善に向けた取組が必要である。
	【②おくやみ窓口の設置】 高齢化に伴う死亡者の増加により、おくやみ窓口のニーズは高まっていくものと考えられるため、専属の窓口職員の配置により、継続的な人員確保が必要である。

(参考)

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	【②おくやみ窓口の設置】 各業務の対応時間確認、連携方法の検討 設置場所、設備関係の調査			実績	【②おくやみ窓口の設置】 おくやみ窓口開設に向けた調査(手続き 項目、手続き内容、所要時間、課題等) おくやみ窓口に係るワーキング会議の 開催(窓口の運用、課題、設置場所の 検討等)
	下半期	計画	【②おくやみ窓口の設置】 業務フロー決定 設備の設置			実績	【②おくやみ窓口の設置】 おくやみ窓口に係るワーキング会議の 開催(業務フロー決定、設置に係る詳細 の検討等) 設備の設置(レイアウト変更、諸設備工 事)、おくやみ窓口開設の試行運用開始
実施結果の 自己評価	評価	【②おくやみ窓口の設置】 本格稼働に向けた試行運用として、当初の予定より早くおくやみ窓口を 開設することができた。					
	達成度	計画	5	目標	5	目標 (実績値)	100%
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	【②おくやみ窓口の設置】 本格稼働に向けてワーキング会議を開催し業 務内容等の見直しをする。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4	II 目標	4	III 妥当性	3

実施計画調書

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	3	取組項目	市民協働の推進			
所管課	市民力推進課	関係課	全課			
取組内容	職員や市民、事業者等に対して地域の課題解決の必要性やそのための市民活動と協働について理解を広める手法を検討し、実施する。					
期待される効果	市民活動に参画する機運が高まり、関わる人が増える。					
計画年度		R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	市民活動と協働について理解を深める手法の検討・知る機会の創出	実施	実施	実施	実施	実施
	地域課題の共有と課題解決に向けた協働の促進	準備	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-

進捗管理シート

R3年度 実施状況	上半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 市民・事業者アンケート実施準備	実績	亀岡市ホームページにおける広報 事業者向けアンケートの実施に向けた検討 まちづくり協働推進委員会の実施	
	下半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 市民・事業者アンケート実施	実績	亀岡市ホームページにおける広報、まちづくり協働推進委員会の開催（2回）、まちづくりワークショップの開催（1回）、事業者向けアンケートの実施	
実施結果の 自己評価	評価	フォーラムは下半期に1回のみ開催となったが、参加者の満足度の高い交流の場となった。また、事業者を対象に市民活動への参画状況や意識を問うアンケートを実施、分析結果については今後の事業に活用する予定。				
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組						
今後の方向性	継続	コメント	協働に新たに参画する個人、事業者が増えるような情報発信、イベントの開催を継続する。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標	III 妥当性		

「資料1-2 評価シート」で評価してください。

令和3年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

令和3年度上半期の 取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡市ホームページで亀岡市支えあいまちづくり協働支援金を活用した事業を紹介（2回） ・ 亀岡市の広報誌で市内の団体の行う事業（後援事業）の広報を行った。（18件） ・ 下半期の事業者向けアンケートの実施に向けて方法・内容等を検討した。 ・ まちづくりワークショップについては上半期に実施できなかったが、4月に開催した令和2年度支援金活用事業の報告会の際に参加団体に向けて資金獲得や広報についての勉強会を実施した。（参加者19人） ・ まちづくり協働推進委員会を開催し、令和3年度の事業計画や支援金の申請事業について協議を行った。（1回）
令和3年度下半期の 取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡市の広報誌やホームページで市内の団体の行う事業（後援事業）や市民活動を支援する制度の広報を行った。（15件） ・ まちづくり協働推進委員会を開催し、事業予定の検討や実施事業の報告を行った。（2回） ・ まちづくりワークショップを11月27日に開催し、学生、市民活動団体、自治会関係者など26名が参加。活動紹介や困りごと解決に向けた相談などを通して交流できる場となり、参加者アンケートでは全員が「とてもよかった」「よかった」と回答した。 ・ 市民活動への参画の現状や意識についての調査を亀岡市内の事業者を対象に実施。市民活動への参加経験の有無、協働の分野・相手、今度の参画に対する意識、希望などの項目について調査した。市内事業所500社に依頼を行い、30%に当たる150社から回答を得た。
今後の課題	市民活動への興味、参画をより促すような情報発信方法を行う。

(参考)

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	市民活動や協働に関する事例の提供		実績	亀岡市ホームページやコミュニティ紙における広報	
	下半期	計画	まちづくりに関するフォーラムの開催		実績	市民活動団体へのアンケートの実施	
実施結果の 自己評価	評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためフォーラムは中止したが、市民活動団体へアンケートを実施し、現在の活動状況や課題、市の支援金事業への意見をいただいた。令和3年度事業に反映したほか、今後の事業の検討材料とする。					
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	アンケート結果の詳細分析を実施し、現在の支援金制度の課題を把握し、改善に努める。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3	II 目標	—	III 妥当性	3

実施計画調書

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	9	取組項目	電子決裁の推進			
所管課	総務課	関係課	企画調整課、財政課、会計課			
取組内容	迅速な意思決定と効率的な事務執行のため、電子決裁の浸透と対象範囲の拡大に取り組む。					
期待される効果	事務の効率化・迅速化の推進、コピー使用量及び紙文書の削減					
計画年度		R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	運用状況の把握、先行自治体等の調査・研究	実施				
	庁内における推進体制の確保	準備	準備	実施	実施	実施
	環境整備（財務会計システムとの連携、機器の導入、各種規程の見直し）		準備	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-

進捗管理シート

R3年度 実施状況	上半期 計画	課題の整理、効果の試算 環境整備（複合機の導入検討）	実績	先行自治体への視察、課題の整理 電子決裁の対象範囲拡大に向けた検討		
	下半期 計画	電子決裁操作研修、意識調査	実績	電子決裁操作研修の実施、電子決裁の対象範囲 の拡大		
実施結果の 自己評価	評価	当初の計画から前倒して、電子決裁の一部運用拡大を行うことができた。				
	達成度	計画	5	目標	-	目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組						
今後の方向性	継続	コメント	今後の運用拡大本格実施に向けて、財務会計システムとの連携など環境 整備を行い、業務の効率化を図る。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標	III 妥当性		

「資料1-2 評価シート」で評価してください。

令和3年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

令和3年度上半期の 取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 先行自治体（綾部市）への視察を行い、課題の整理を行った。 電子決裁の対象範囲拡大に向けた基本的な決裁ルート等の整理を行った。
令和3年度下半期の 取組実績	電子決裁の運用拡大に向けて、改めて公文書管理システムの操作研修会を実施し、令和3年12月1日から電子決裁の一部運用拡大を行った。
今後の課題	今回の電子決裁運用拡大では、財務会計システムとの連携ができないなどの理由から、負担行為何いとなる決裁を対象外とするなど、一部対象外としている決裁がある。今後、運用拡大本格実施に向けて、電子決裁の効果の検証及び課題の整理を行う必要がある。

(参考)

進捗管理シート								
R2年度 実施状況	上半期	計画	電子決裁の運用状況の把握 近隣市及び先行自治体の調査・研究			実績	電子決裁の運用状況の把握 近隣市の導入状況の調査	
	下半期	計画	課題の整理、効果の試算 庁内推進体制の整備			実績	現状把握と課題の整理 庁内推進体制の整備に向けた検討	
実施結果の 自己評価	評価	近隣市の導入状況の調査や、電子決裁の運用状況を把握する中で、一定課題の整理ができた。						
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)	—	
未達成の原因と 今後の取組	—							
今後の方向性	継続	コメント	庁内推進体制の整備を進め、職員への意識調査を行うなど、引き続き電子決裁の運用拡大に向けた課題の洗い出し、検討を進めていく。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3	II 目標	—	III 妥当性	3	

実施計画調書

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート							
No.	12	取組項目	公共施設マネジメントの推進				
所管課	財産管理課	関係課	各施設所管課				
取組内容	公共施設の計画的な維持修繕による長寿命化や施設保有総量の最適化（施設の廃止、統合等）などを検討し、効率的・効果的な施設運営のあり方を検討し、見直す。						
期待される効果	施設の適正化により安定した財政運営を図る。						
計画年度		R2	R3	R4	R5	R6	
実施項目と計画	施設の廃止、統合等の検討・見直し	実施	実施	実施	実施	実施	
	各施設個別計画の策定	実施	実施				
目標指標	数値目標	建築施設延床面積削減率（平成28年対比）	1.48%	1.85%	2.22%	2.59%	2.96%

進捗管理シート						
R3年度 実施状況	上半期 計画	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の開催		実績	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の開催	
	下半期 計画	各個別施設計画を反映した、亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂		実績	亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂	
実施結果の 自己評価	評価	建築施設の延床面積削減率は、数値目標を達成している。個別施設計画との整合を図るため、亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂を行った。				
	達成度	計画	3	目標	3	目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組						
今後の方向性	継続	コメント	改訂された管理計画をもとに、施設の廃止、統合等の検討・見直しを引き続き行う。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標	III 妥当性		

「資料1-2 評価シート」で評価してください。

※公共施設マネジメント…公共施設の計画的な維持修繕による長寿命化や施設保有総量の最適化（総量縮減）など、市が保有する公共施設を最適に維持管理し、有効活用を図ることで、適切な行政サービスの提供と安定した財政運営を両立させるための取組のこと。

令和3年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）	
令和3年度上半期の 取組実績	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議を開催し、各部へ公共施設マネジメントの現状等の共有化を通じて、目標に向けての推進を図った。
令和3年度下半期の 取組実績	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議を開催。また、個別施設計画の記載内容との整合を図るために亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂を行った。
今後の課題	削減目標に向けての具体的な方法を確立していく必要がある。

(参考)

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の開催			実績	各個別計画策定状況の把握及び作成依頼
	下半期	計画	各個別施設計画の策定			実績	各個別施設計画の策定
実施結果の 自己評価	評価	建築施設の延床面積削減率は、数値目標を達成している。各個別施設計画の策定は、状況把握及び各施設所管課への作成依頼を行い、予定した全施設の計画策定を達成した。					
	達成度	計画	4	目標	4	目標 (実績値)	3.42%
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	施設の廃止、統合等の検討・見直しを引き続き行う。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4	II 目標	4	III 妥当性	3

実施計画調書

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	2	取組項目	市政情報の共有化と広報、広聴機会の充実				
所管課	広報プロモーション課	関係課	情報発信を行う各課				
取組内容	市政情報の市ホームページ、SNS等による積極的な発信						
期待される効果	積極的な発信によって市政情報を共有し、市民の市政への参画の促進を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	情報発信に対するレスポンス数の調査		実施	実施	実施	実施	実施
	調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の年度総計	310,000	315,000	320,250	325,500	325,500

進捗管理シート

R3年度 実施状況	上半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査	実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（上半期） 383,050件		
	下半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し	実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（下半期） 400,301件		
実施結果の 自己評価	評価	各種デジタルメディアを活用した情報発信により、各SNSのフォロワー数及び市公式HPの閲覧者を増加させることができた。					
	達成度	計画	5	目標	5	目標 (実績値)	756,034件
未達成の原因と 今後の取組		-					
今後の方向性		継続	コメント	ターゲットに応じて各種デジタル媒体を使い分けることで、本市の認知度向上と各施策の効果的な情報発信につなげる。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標	III 妥当性			

「資料1-2 評価シート」で評価してください。

令和3年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

令和3年度上半期の 取組実績	<p>・情報発信に対するレスポンス数の調査 市ホームページへのアクセス件数、SNS (Facebook、LINE、Instagram) フォロワー数の総計をレスポンスの指標値とし、増減と動向を調査したところ、レスポンスは計383,050件となった。</p> <p><上半期内訳> ■ 亀岡市公式ホームページ (TOPページ) のPV数：355,733 ■ LINEアカウントの友達数：19,006 ■ Facebookフォロワー数：3,959 ■ インスタグラムフォロワー数：4,352</p>
令和3年度下半期の 取組実績	<p>新型コロナウイルス感染症関連の情報をほぼ毎日発信したことにより、コロナ情報のページのみならず、ホームページ全体のアクセス数・LINEのフォロワー数の増加につながった。 同時に、各種デジタル広告に配信をしたことで、亀岡市を認知し、一定の興味をもって市HPに訪問する層の確認ができた。</p> <p><下半期内訳> ■ 亀岡市公式ホームページ (TOPページ) のPV数：371,494 ■ LINEアカウントの友達数：20,429 ■ Facebookフォロワー数：3,482 ■ インスタグラムフォロワー数：4,896</p> <p><令和3年度総計> 756,034件</p>
今後の課題	<p>アクセス者の居住地・年代・性別などの属性データをもとに、どういったターゲットに対して、亀岡市の情報を、どのくらいの量・頻度で届けるのか、事業ごとに詳細に検討し、その精度をあげていく必要がある。</p>

(参考)

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査		実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（上半期） 512,982件	
	下半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し		実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（下半期） 258,953件 ホームページのリニューアルに向け精査・検討を行った。	
実施結果の 自己評価	評価	新型コロナウイルス感染症関連の情報をほぼ毎日発信したことにより、アクセス数・フォロワー数が増加した。ホームページのリニューアルに向け、掲載記事の精査・課題等の協議を行った。					
	達成度	計画	4	目標	5	目標 (実績値)	753,486件
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	令和3年11月から新ホームページの運用開始予定。スマートフォン等での閲覧を前提とし、さらなる情報発信の強化と利便性を旨とする。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4	II 目標	4	III 妥当性	3

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート							
No.	6	取組項目	人材の育成、職員研修の充実				
所管課	人事課・市立病院経営企画室	関係課	—				
取組内容	・職員研修や階層別研修、派遣研修等の実施効果の検証や見直し等を行い、職員研修の充実を図る。 ・日々発生する医療の課題に対して、各部署参加の委員会、研修会を実施し、病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力を強化する。						
期待される効果	職員の業務能力の向上、職員の仕事に対するモチベーション向上						
計画年度		R2	R3	R4	R5	R6	
実施項目と計画	①人材の育成、職員研修の充実						
	研修計画の策定と運用	実施	実施	実施	実施	実施	
	職員研修、他団体への派遣研修	実施	実施	実施	実施	実施	
	②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化						
	医療安全管理に係る研修会	実施	実施	実施	実施	実施	
感染対策に係る研修会	実施	実施	実施	実施	実施		
目標指標	数値目標	選択希望制研修の延べ受講者数	100	105	110	115	120
		医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施回数	2	2	2	2	2

進捗管理シート						
R3年度実施状況	上半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会	実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理に係る自己研修の実施	
	下半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会	実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施	
実施結果の自己評価	評価	【①人材の育成、職員研修の充実】 コロナ禍のなかで、集合研修、派遣研修、テキスト研修や動画研修など研修方法を工夫しながら実施することができた。	計画 3	目標 2	目標 (実績値) 80人	
		【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理に係る研修及び感染対策に係る研修を計3回実施することができた。研修により、医療安全及び新型コロナウイルスに関する知識を得て、職員の能力向上をすることができた。	計画 4	目標 4	目標 (実績値) 3回	
	未達成の原因と今後の取組	【①人材の育成、職員研修の充実】 コロナ禍のため、中止となった研修があったため。今後も継続して、職員研修の充実を図る。				
		今後の方向性	継続	コメント	【①人材の育成、職員研修の充実】 今後も継続して、eラーニング研修などコロナ禍に対応した研修手法を導入し、職員研修の充実を図る。 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 今後も継続して、医療安全管理に係る研修及び新型コロナウイルス関連等の感染対策研修を実施し、職員の能力向上に取り組む。	
行政改革推進委員会の評価	達成度	① I 計画	II 目標	III 妥当性		
		② I 計画	「資料1-2 評価シート」で評価してください。			

令和3年度実施計画 進捗管理シート (詳細版)	
令和3年度上半期の取組実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 ・令和3年度職員研修計画を策定し、運用を行った。 ・職員研修を実施した。 ・派遣研修を実施した。 ・他団体への派遣研修を実施した。 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理に係る自己研修を1回実施した。令和2年度に作成した医療安全管理研修の災害訓練DVDを、研修不参加の職員及び見直しのために、病院内各パソコンで視聴可能とし、全職員の視聴を促進した。DVD視聴により、災害発生時における役割、行動がイメージでき、職員の対応力強化に繋がると考える。 上半期は、ワクチン接種、発熱外来等の新型コロナウイルス対応業務にて、病院全体が多忙であり、全職員対象の全体研修を実施することが難しい状況であった。
令和3年度下半期の取組実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 ・令和4年度職員研修計画を策定した。 ・職員研修を実施した。 ・他団体への派遣研修を実施した。 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理に係る研修を1回、感染対策に係る研修を1回実施した。医療安全管理に係る研修では、「ヒューマンエラーから事故防止を考える」及び「災害訓練・初動活動を考える」を実施し、それぞれ150名、81名の参加があった。「ヒューマンエラーから事故防止を考える」は、ヒューマンエラー発生メカニズムを知り、対策の導き方を学ぶことで、実践に活かせる研修であった。「災害時初動訓練地震編」では、夜間災害発生時のシミュレーションDVDを当院職員が作成し、視聴研修を実施した。当院を舞台にし、演者も職員が行ったため、発生時における具体的な役割、行動がイメージでき、職員の対応力強化に繋がった。 感染対策に係る研修では、「COVID-19 感染対策の今までとこれから」を実施し、140名の参加があった。今までの当院での取り組み内容、新型コロナウイルスの特性を改めて学ぶことにより、今後の対応等に役立つことができる内容であった。
今後の課題	【①人材の育成、職員研修の充実】 職員研修や階層別研修、派遣研修等の実施効果の検証や見直し等を行い、職員研修の充実を図る。 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 公的病院として新型コロナウイルス感染症に係る業務に対応しつつ、感染対策を立てながら、研修会を開催し、今後の感染状況に応じた職員の能力(対応力)強化に努めなければならない。

(参考)

進捗管理シート						
R2年度 実施状況	上半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会			
	下半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会			
実施結果の 自己評価	評価	【①人材の育成、職員研修の充実】 新型コロナウイルス感染症拡大により、集合研修や派遣研修の実施が難しいなか、テキスト研修や動画研修などの実施も行った。				
	達成度	計画	3	目標	3	目標 (実績値) 115人
	評価	【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理に係る研修及び感染対策に係る研修を計4回実施することができた。 医療安全管理研修を実施することにより、職員の医療安全管理の能力向上に繋がり、また、感染対策研修で新型コロナウイルス感染症に対する知識を深めることにより、実際の発熱外来、入院環境整備で活用することができた。				
	達成度	計画	5	目標	5	目標 (実績値) 4回
未達成の原因と 今後の取組	-					
今後の方向性	継続	コメント	【①人材の育成、職員研修の充実】 eラーニング研修などコロナ禍に対応した新しい研修手法を導入し、職員研修の充実を図る。 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 今後も継続して、医療安全管理に係る研修及び新型コロナウイルス関連等の感染対策研修を実施し、職員の能力向上に取り組む。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	① I 計画	3	II 目標	3	III 妥当性 3
		② I 計画	5	II 目標	4	III 妥当性 4

実施計画調書

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	7	取組項目	人事評価制度の運用				
所管課	人事課	関係課	—				
取組内容	職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような人事評価制度の運用を図る。また、毎年度の実施状況等に応じてより良い評価制度となるよう、制度の見直しを行う。						
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の主体的な職務の遂行及びより高い能力を持った公務員の育成 ・ 組織全体の士気高揚を促し、公務能率の向上につなげ、住民サービス向上の土台をつくる 						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	人事評価	実施	実施	実施	実施	実施	
	<small>(職務目標の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)、フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談(育成面談)、ステップアップ面談)</small>						
	人事評価制度の見直し	実施	実施	実施	実施	実施	
目標指標	数値目標	—	—	—	—	—	

進捗管理シート

R3年度 実施状況	上半期 計画	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)	実績	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)、行動記録表の記入		
	下半期 計画	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談(育成面談)、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証	実績	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、最終評価、フィードバック面談(育成面談)、最終評価結果の開示、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証		
実施結果の 自己評価	評価	制度見直し後、1年間の試行期間を経て令和2年度から本格実施となったが、特段問題なくスムーズに実施できた。制度理解が進んだと思われる。				
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組	—					
今後の方向性	継続	コメント	さらに制度の理解・定着を図っていくとともに、職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような制度となるよう検討を行う。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標	III 妥当性		

「資料1-2 評価シート」で評価してください。

令和3年度実施計画 進捗管理シート(詳細版)

令和3年度上半期の 取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事評価のうち業績評価に係る「職務の目標」を被評価者本人が設定した。「職にふさわしい目標か」「成長につながる目標か」「組織目標を踏まえた目標か」「何を」「いつまでに」「どの水準まで」「どのように」といった視点を踏まえ設定した。 ・ 被評価者と1次評価者との間でスタートアップ面談(目標設定面談)を行い、業績評価の「職務の目標」が被評価者にとってふさわしい目標となっているかを確認のうえ確定し、認識の共有化を図った。職位や組織目標との整合性がとれていない場合は目標の修正を指導した。その他業務遂行に際しての双方の要望や意見等について話し合いを行った。 ・ 評価者は部下を評価する際の参考資料として、日ごろから部下の行動を見守り、望ましい行動、望ましくない行動、それらに対する指導内容などを随時「行動記録表」に書きとめた。
令和3年度下半期の 取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○フォローアップ面談 新規採用職員等、特に育成の必要な職員について、必要に応じて1次評価者が面談し、目標達成に向けた進行管理や問題点等についてアドバイスを行い、今後の方向づけや動機づけを行う。 ○能力評価、業績評価、総合評価 本人、1次・2次評価者の順で、能力評価、業績評価、総合評価を実施する。 ○フィードバック面談(育成面談) 1次・2次評価者が連携しながら、人事評価の結果を被評価者にフィードバックし、今後の能力開発、育成点等をアドバイスする。 ○最終評価 市長による最終評価を実施する。 ○最終評価結果の開示 最終評価結果を本人に開示する。 ○ステップアップ面談 希望する職員を対象に職務状況シート等の内容に沿って配置希望等の聞き取りを行い、キャリアアップに向けたアドバイスを行う。 ○実施状況・結果の検証 実施状況や結果を検証し、今後の見直しの必要性を検討する。
今後の課題	さらに制度の理解・定着を図っていくとともに、職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような制度となるよう検討を行う。

(参考)

進捗管理シート

進捗管理シート								
R2年度 実施状況	上半期	計画	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談（目標設定面談）			実績	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談（目標設定面談）、行動記録表の記入、人事評価研修（評価者・被評価者）の実施	
	下半期	計画	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談（育成面談）、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証			実績	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、最終評価、フィードバック面談（育成面談）、最終評価結果の開示、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証	
実施結果の 自己評価	評価	制度見直し後、1年間の試行期間を経て令和2年度から本格実施となったが、特段問題なくスムーズに実施できた。新型コロナウイルス感染症拡大により集合形式での人事評価研修が実施できず書面研修となったが、一定制度理解が進んだと思われる。						
	達成度	計画	3		目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組	—							
今後の方向性	継続	コメント	本格実施後1年が経過したところであるが、さらに制度の理解・定着を図っていくとともに、職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような制度となるよう検討を行う。					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3		II 目標	—	III 妥当性	3

実施計画調書

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-②受益と負担の見直し

実施計画シート			
No.	13	取組項目	受益者負担の適正化
所管課	企画調整課・教育総務課	関係課	使用料・手数料の所管課
取組内容	受益と負担の公平性を確保する観点から、公共サービスの手数料や使用料について、近隣市との比較による現状分析等を実施し、適正な負担の程度の検証や適正化を図る。		
期待される効果	受益と負担の公平性を保つ		

計画年度		R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	①使用料・手数料の検証					
	使用料・手数料の状況把握、近隣市の状況調査	実施	実施	実施		
	調査結果の検証、近隣市との比較等による現状分析		実施	実施	実施	
	使用料・手数料の適正化の検討・見直し		実施	実施	実施	実施
	②学校施設使用料の検証					
	学校施設使用料の状況把握、近隣市の状況調査	実施				
調査結果の検証 近隣市との比較等による現状分析	実施					
使用料徴収の適正化を検討・見直し		実施				
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-

進捗管理シート						
R3年度 実施状況	上半期 計画	【①使用料・手数料の検証】 使用料・手数料の状況把握 【②学校施設使用料の検証】 使用料徴収の適正化を検討・見直し	実績 【①使用料・手数料の検証】 使用料の状況把握のための調査に向けた事務を進めた 【②学校施設使用料の検証】 使用料の支払方法を拡大			
	下半期 計画	【①使用料・手数料の検証】 近隣市の状況調査、調査結果の検証 近隣市との比較等による現状分析 【②学校施設使用料の検証】 使用料徴収の適正化を検討・見直し	実績 【①使用料・手数料の検証】 使用料の設定状況調査、近隣市の状況把握・比較、施設使用料の見直しを実施 【②学校施設使用料の検証】 使用料の支払方法を拡大			
実施結果の 自己評価	評価	【①使用料・手数料の検証】 施設使用料を定める際の統一的な基準の設定について検討するため、施設使用料の設定状況について調査を行い、施設使用料の見直しを実施した。 【②学校施設使用料の検証】 キャッシュレス決済の導入により利用者の利便性を高めることができた。				
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組		-				
今後の方向性		継続	コメント 【①使用料・手数料の検証】 今後は、使用料・手数料の適正化について検証を進める。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標	III 妥当性		

「資料1-2 評価シート」で評価してください。

令和3年度実施計画 進捗管理シート (詳細版)	
令和3年度上半期の 取組実績	<p>【①使用料・手数料の検証】 各所属における使用料について、令和3年11月の各部への照会に向けて、調査の事務を進めた。 調査項目：市民利用者と市外利用者での料金差、市民と市外の方の利用件数の割合、施設の平均稼働率等</p> <p>【②学校施設使用料の検証】 利用者の利便性を高めるために、使用料の徴収方法を拡大した。</p>
令和3年度下半期の 取組実績	<p>【①使用料・手数料の検証】 ・使用料の設定状況についての調査 使用料の状況を把握するため、使用料の設定状況についての調査を行った。 公共施設の使用料について、市民と市外利用者の料金差について検証した。</p> <p>・近隣市の状況把握・比較、施設使用料の見直しを実施 市民の利用率の向上を図るため、亀岡運動公園等の有料公園施設、社会体育施設の使用料の見直しを行った（市外在住者の使用料を市民の1.5倍に設定した）。</p> <p>【②学校施設使用料の検証】 令和3年10月1日からキャッシュレス決済（PayPay）を導入し、利用者の利便性を高めた。</p>
今後の課題	<p>【①使用料・手数料の検証】 使用料、手数料について、受益者負担の適正化についての検証を進めていく必要がある。</p>

(参考)

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	【②学校施設使用料の検証】 学校施設使用料の現状把握			実績	【②学校施設使用料の検証】 平成27年度から令和元年度までの、「小学校施設使用料」「中学校施設使用料」から「平均」を算出。 京都府下の他市の「体育館使用料」「グラウンド使用料」「使用条例・規則」を調査し、亀岡市の使用料と比較。
	下半期	計画	【②学校施設使用料の検証】 近隣市の状況調査			実績	【②学校施設使用料の検証】 京都府内の他市の状況を調査し、亀岡市の使用料と比較した。また、亀岡市立学校施設使用条例施行規則の一部を改正し、申請方法及び使用料徴収の改善を図った。
実施結果の 自己評価	評価	【②学校施設使用料の検証】近隣市の学校施設使用料及び使用条例を調査し、亀岡市との比較等による現状分析を行った。亀岡市の使用料が他市と比較して概ね適当であることが把握できた。また、亀岡市立学校施設使用条例施行規則の一部を改正することで、使用者の負担軽減を図ることができた。					
	達成度	計画	5	目標	-	目標 (実績値)	-
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	【②学校施設使用料の検証】使用料徴収の適正化を検討し、使用料支払いの利便性の向上を図っていく。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4	II 目標	—	III 妥当性	3

実施計画調書

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	4	取組項目	公民連携によるまちづくり			
所管課	企画調整課	関係課	全課			
取組内容	民間企業等との連携、民間活力の導入について検討し、公民連携によるまちづくりを進める。					
期待される効果	民間活力を導入することで、行政サービスの質の向上を図る。					
計画年度		R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	民間企業等との連携、協定締結の推進	実施	実施	実施	実施	実施
	包括協定（※）に基づく施策の推進	実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-

進捗管理シート

R3年度 実施状況	上半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定等に関する課題把握	実績	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定等に関する状況及び課題把握のための調査	
	下半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 他市の公民連携の取組事例の調査及び調査結果 の共有	実績	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定等に関する状況及び課題把握のための調 査、他市の公民連携に関する取組事例調査・結 果の共有	
実施結果の 自己評価	評価	民間企業等との新たな包括協定の締結には至らなかったが、所管部を対象に民間企業からの説明会 を実施するなど、積極的に推進した。 庁内の状況把握及び課題把握に向け、協定締結状況等の調査を実施した。				
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組	-					
今後の方向性	継続	コメント	引き続き、他市の公民連携の取組事例の調査を行い、所管部及び民間企 業に対して積極的な働きかけを行う。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標	III 妥当性		

「資料1-2 評価シート」で評価してください。

※包括協定…特定の分野に限ることなく、幅広い分野において協力しながら、取組を進めるために締結する協定のこと。

令和3年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

令和3年度上半期の
取組実績

- ≪民間企業等との連携、協定締結≫
- 災害発生時における応急対策に関する協定を締結
協定締結日（締結先）：
令和3年8月3日（亀岡市森林組合）
連携内容：
災害時における緊急通路等を塞ぐ倒木及びかかり木の処理を行う。
 - 亀岡市ドライブレコーダーによるまちの見守り協定を締結
協定締結日（締結先）：
令和3年9月3日（マルホ発條工業株式会社、京都湯の花自動車学校、
ニチコン亀岡株式会社）
連携内容：
犯罪や交通事故のない安全安心な地域社会の構築を目指し、市内企業、
店舗や亀岡市等が設置する防犯カメラと合わせ、企業の事業活動と並行
したドライブレコーダーによる「まちの見守り体制」を充実、強化し、
犯罪・交通事故抑止と早期解決を図ることで、安全、安心で「選ばれる
まち」・「住み続けたいまち」の実現を図る。
 - かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定を締結
協定締結日（締結先）：
①令和3年4月9日（一般社団法人Social Innovation Japan）
②令和3年6月3日（ウォータースタンド株式会社）
③令和3年6月22日（株式会社DESIGN WORKS ANCIENT）
④令和3年7月28日（タイガー魔法瓶株式会社）
⑤令和3年7月27日（日本紙業有限会社）
連携内容：
①～④
持続可能な開発目標（SDGs）の「環境・経済・社会の三側面の統合的
取り組みの推進」というビジョンのもと、地域資源を活用した新たな
価値の創出による持続可能なまちづくりに取り組むため、亀岡市の未来
づくりに向けたパートナーとして、事業活動を通じて、経済的・社会的
価値を創造しながら、環境に配慮した取組を進めていく。
⑤
「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」及び持続可能な開発目標（SDGs）
のビジョンに基づき、亀岡市と日本紙業有限会社が、亀岡市の未来づくりに
向けたパートナーシップを構築し、事業活動を通じて経済的・社会的
価値を創造しながら「世界に誇れる環境先進都市」の実現を目指す。

令和3年度下半期の取組実績	<p>≪民間企業等との連携、協定締結の推進≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ●災害時における生活物資の供給協力に関する協定 協定締結日（締結先）： ①令和3年10月1日（京都府、合同会社ビバ&サンガ） ②令和3年12月3日（株式会社カインズ） 連携内容： ①災害時における京都府立京都スタジアムの施設及び駐車場等の一部を臨時避難所として利用する。 ②災害時における非常食や簡易トイレなどの、生活物資の迅速かつ円滑な確保のため、生活物資の供給協力をを行い、市民生活の安定を図る。 ●亀岡市ドライブレコーダーによるまちな見守り協定 協定締結日（締結先）： 令和4年2月3日（ヤサカ商事株式会社亀岡営業所、学校法人みどり学園安町幼稚園、医療法人睦会） 連携内容： 犯罪や交通事故のない安全安心な地域社会の構築を目指し、市内企業、店舗や亀岡市等が設置する防犯カメラと合わせ、企業の事業活動と並行したドライブレコーダーによる「まちな見守り体制」を充実、強化することにより、犯罪・交通事故抑止と早期解決を図る。 ●かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定 協定締結日（締結先）： ①令和3年11月25日（株式会社カネカ） ②令和3年12月3日（株式会社カインズ） 連携内容： 持続可能な開発目標（SDGs）の「環境・経済・社会の三側面の統合的取組の推進」というビジョンのもと、地域資源を活用した新たな価値の創出による持続可能なまちづくりに取り組むため、亀岡市の未来づくりに向けたパートナーとして、事業活動を通じて、経済的・社会的価値を創造しながら、環境に配慮した取組を進めていく。 ●ペットボトルリサイクル事業に係る協定 協定締結日（締結先）： 令和4年1月24日（株式会社セブン-イレブン・ジャパン） 連携内容： 亀岡市内のセブン-イレブン店舗にペットボトル回収機を設置し、「ボトルtoボトル」による完全循環型リサイクルの取組を実施する。 ●環境パートナーシップ協定 協定締結日（締結先）： 令和4年2月17日（日本環境設計株式会社） 連携内容： ペットボトルの「ボトルtoボトル」リサイクルの実施、古着回収拠点の設置等に関する共同検討および環境教育及び啓発を目的とした市民参加型イベントや循環型製品の販売を行う。 <p>≪他市における公民連携の取組事例の調査・調査結果の共有≫ 民間企業等との連携、協定について、他市における連携の取組事例について調査を行った。 また、他市の取組事例について、庁内掲示板で情報共有を行った。</p> <p>・企業等との協定締結数 168件（令和3年度末現在）</p>
今後の課題	協定締結における課題（各企業、自治体等と連携した取組の横展開や情報発信力の強化等）の解決に向けた取組が必要である。

(参考)

進捗管理シート							
R2年度実施状況	上半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 包括協定に基づく施策の推進			実績	民間企業等との連携、協定締結 新たな包括協定の締結に向け、1社と具体的な協議を進行
	下半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 包括協定に基づく施策の推進			実績	民間企業等との連携、協定締結 上半期に協議を進行していた1社と包括協定を締結 民間企業等との連携・協定締結状況の調査
実施結果の自己評価	評価	民間企業等と新たな協定を締結した。 庁内の状況把握及び課題把握に向け、協定締結状況等の調査を実施した。					
	達成度	計画	3		目標	-	
未達成の原因と今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	今後は、調査結果の分析及び課題把握を行う。また、他市の公民連携の取組事例の調査を行う。				
行政改革推進委員会の評価	達成度	I 計画	3		II 目標	-	
				III 妥当性	3		

実施計画調書

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-①分野横断的な組織体制の構築

実施計画シート

No.	5	取組項目	庁内連携システムの確立			
所管課	企画調整課	関係課	全課			
取組内容	様々な行政課題に対応するため、プロジェクトチームやワーキンググループ等を活用し、課を越えた横の連携を強化する。 組織の活性化と行政運営の効率化を図るため、プロジェクトチーム等の設置のあり方を見直す。					
期待される効果	横の連携を強化することで、施策の推進や行政課題の解決を図る。					
計画年度		R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用	実施	実施	実施	実施	実施
	プロジェクトチーム、ワーキンググループの現状及び課題の把握	実施	実施	実施		
	プロジェクトチーム、ワーキンググループ設置のあり方の見直し		準備	実施	実施	実施
	多様な連携方法の検討・試行				実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-

進捗管理シート

R3年度 実施状況	上半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 現状及び課題把握のための調査	実績	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 現状及び課題把握のための調査	
	下半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 調査結果の分析	実績	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 現状及び課題把握のための調査・課題の整理	
実施結果の 自己評価	評価	プロジェクトチーム・ワーキンググループの会議を開催し、様々な課題について協議、検討を行った。 庁内の状況及び課題把握に向けた取組を行った（活用状況についての調査を実施）。				
	達成度	計画	3	目標	-	目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組	-					
今後の方向性	継続	コメント	引き続き、活用状況の把握に努め、課題整理を行う。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標	III 妥当性		

「資料1-2 評価シート」で評価してください。

令和3年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

令和3年度上半期の 取組実績	<p>《プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 亀岡市文化施設のあり方検討ワーキンググループの設置 設置目的：亀岡市における文化施設のあり方を考える懇話会での意見交換に必要な事項について、調査、研究及び検討を行う。 ● AIチャットボット導入検討ワーキンググループの設置 設置目的：AIチャットボットサービス導入のための具体的検討を進める。 ● 女性の視点を生かすワーキンググループの設置 設置目的：「生理の貧困」など女性の視点を生かした支援を検討する。 ● かめおかブランド戦略プロジェクトチームの設置 設置目的：本市の子育て環境や取組状況を他市の事例と比較することで、ターゲットを明確化し、そのための施策や関連事業を体系的に整理し、それらを効果的に発信する手法を検討することで、亀岡市独自のブランド形成に繋げていく。 ● 亀岡市『ロゴマーク』制作検討会議 設置目的：ロゴマークは、目に見える視覚的なものであり、一番外部に伝えやすく、一目見ることで亀岡市を想像できる効果があり、非常に重要な役割を果たすことから、市章（シンボルマーク）とロゴタイプ（亀岡市の文字）を組み合わせたロゴマークを制作する。
令和3年度下半期の 取組実績	<p>《プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「Green Planet」プロジェクトチームの設置 設立日：令和3年12月21日 目的：亀岡市と「かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定」を締結した株式会社カネカの100%植物由来の生分解性ポリマー「Green Planet」を活用し、循環型社会の構築に向けたモデル事業に取り組む。 <p>《現状及び課題把握のための調査、課題の整理》</p> <p>プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用状況について、調査を行った。</p>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を整理するとともに、共通する課題については、課題解決に向けた方策を検討していく必要がある。 ・ 課を超えた横の連携を強化する必要がある。

(参考)

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用		実績	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用	
	下半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 現状及び課題把握のための調査		実績	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 プロジェクトチーム、ワーキンググループ等の 活用状況についての調査	
実施結果の 自己評価	評価	プロジェクトチーム・ワーキンググループの会議を開催し、様々な課題について協議、検討を行った。 庁内の状況及び課題把握に向けた取組を行った（活用状況についての調査を実施）。					
	達成度	計画	3	目標	—	目標 (実績値)	—
未達成の原因と 今後の取組	—						
今後の方向性	継続	コメント	今後は調査結果を分析し、課題整理を行う。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	3	II 目標	—	III 妥当性	3

実施計画調書

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	8	取組項目	業務効率を高めるためのICTの活用				
所管課	企画調整課・情報政策課		関係課	全課			
取組内容	効率的で持続可能な行財政運営を推進するため、RPA（※）を始めとする業務の効率化が期待できるICT（情報通信技術）の活用を図る。						
期待される効果	業務の効率化を図り、よりよい市民サービスにつなげる。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	RPAの活用及び活用業務の拡大		実施	実施	実施	実施	実施
	AI-OCR（※）活用及び活用業務の拡大		実施	実施	実施	実施	実施
	AI（※）の活用検討			実施	実施	実施	実施
	ICTツールの調査研究			実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	RPA適用を検討・導入した事務数	3	5	5	5	5

進捗管理シート

R3年度 実施状況	上半期 計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、シナリオ作成技術者育成トレーニングの実施、AI活用に関する調査 ICTツールの調査研究	実績	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、シナリオ作成技術者育成トレーニング、ICTツールの調査研究、AI議事録の実証		
	下半期 計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、AI活用に関する調査 ICTツールの調査研究 次年度RPA適用業務の検討	実績	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、AI活用に関する調査 ICTツールの調査研究 次年度RPA適用業務の検討		
実施結果の 自己評価	評価	コロナ禍のためWGの開催はできなかったが、各担当者と連携してシナリオ開発及び運用を行った。実機を使った操作研修会の実施により若手職員を中心にRPAの啓発を行った。				
	達成度	計画	4	目標	3	目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組	-					
今後の方向性	継続	コメント	作成したシナリオやパーツの活用が図れるように、担当課との調整をより細やかに行っていく必要がある。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画	II目標	III妥当性		

「資料1-2 評価シート」で評価してください。

※RPA…定型的なパソコン操作をソフトウェア型ロボットにより自動化すること。
 ※AI-OCR…人工知能（学習機能）を搭載した、文字を読み取って文字データへと変換する技術のこと。
 ※AI…人工知能のこと。

令和3年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）

令和3年度上半期の 取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○RPA及びAI-OCRの運用 <ul style="list-style-type: none"> ・RPA及びAI-OCRの運用（11件） （市民課、教育総務課、税務課） ・RPAシナリオの開発及び運用（1件） 学校教育課：特別支援就学奨励費振込口座登録（削減率45%） ・RPAシナリオの開発（2件） 保育課：保育所入所調整結果登録及び通知書作成業務 お客様サービス課：上下水道漏水還付に係る支出伝票作成業務 ○シナリオ作成者育成トレーニング <ul style="list-style-type: none"> ・RPA操作研修会実施（8/17） 27名参加 ○ICTツールの調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・書かない窓口検討に向けた各種ツールの比較検討 ○AI議事録作成アプリの実証運用 <ul style="list-style-type: none"> ・9月1日～30日の間に12の会議で実証 平均削減率53%
令和3年度下半期の 取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○RPAシナリオの開発（5件） <ul style="list-style-type: none"> 学校教育課：①特別支援就学奨励費振込口座登録 地域福祉課：②非課税世帯臨時特別給付金申請受付業務 保育課：③保育所入所決定通知登録業務 お客様サービス課：④漏水還付伝票債権者入力業務 保険医療課：⑤国民健康保険料の口座振替用口座情報登録処理 ○RPAシナリオの運用（4件） <ul style="list-style-type: none"> 市民課：住民異動月次資料作成 ふるさと創生課：ふるさと納税ワンストップ特例申請入力 税務課：市民税申告書入力業務他 教育総務課：支出負担行為兼支出伝票作成業務等 ○AI-OCRの活用（2件） <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援課：子育て世帯臨時特別給付金申請書データ化 社会教育課：成人式意識調査（高校生アンケート）集計 ○AI活用に関する調査、ICTツールの調査研究 AIを活用した文字起こし作成支援ソフトウェアの実証利用 ○次年度RPA適用業務の検討 委託開発を行う3業務について、RPAの適用に向けて検討中 （後期高齢者医療保険料の口座振替用口座情報登録処理等） ○RPA運用業務数（令和3年度）…17業務（うち3業務はテスト中） ※令和2年度より5業務増加 ○業務削減率（効果測定済分のみ）…平均49.5%
今後の課題	<p>RPAシナリオを稼働できる端末台数が少なく、各課で利用する場合、貸出対応になっている。わざわざ端末を借用に来るのであれば自席で人がしたほうが早いといった観点で作成したシナリオが利用されない場合がある。</p> <p>また、シナリオを稼働させる端末について、内部設定等の細かい環境の差異によって意図せぬ挙動が発生することもあるため、RPAを安定的に稼働させるためにICT技術に関する専門的な知識が必要となる場合がある。</p>

(参考)

進捗管理シート							
R2年度 実施状況	上半期	計画	RPA、AI-OCR運用 運用ルール策定、シナリオ作成		実績	RPA、AI-OCR運用（特別定額給付金事務等） RPA運用ルールの整理	
	下半期	計画	RPA、AI-OCR運用、シナリオ作成 次年度RPA適用業務の検討		実績	RPA、AI-OCR運用、シナリオ作成、 職員研修会実施、次年度RPA適用業務の検討	
実施結果の 自己評価	評価	コロナ禍のためWGの開催はできなかったが、各担当者と連携してシナリオ開発及び運用を行った。 実機を使った操作研修会の実施により若手職員を中心にRPAの啓発を行った。					
	達成度	計画	4	目標	4	目標 (実績値)	5件
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	作成したシナリオやパーツの活用が図れるように、担当課との調整をより細やかに行っていく必要がある。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4	II 目標	4	III 妥当性	3

実施計画調書

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート						
No.	10	取組項目	経常的経費を含む事務事業の検証			
所管課	財政課	関係課	全課			
取組内容	経常的経費（※）を含む事務事業の実態を把握、検証した上で、事務事業の取捨選択やスクラップ・アンド・ビルド（※）などを徹底することで、健全で持続可能な財政運営を行う。					
期待される効果	最少の経費で最大の効果を挙げることの徹底					
計画年度		R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	財政担当による経常的経費を含む事務事業の見直しや改善・課題点などの検討	実施	実施	実施	実施	実施
	主管課による事務事業の実態把握及び検討	実施	実施	実施	実施	実施
	検討事項の審査	実施	実施	実施	実施	実施
	当初予算など編成事務において事務事業の取捨選択やスクラップ・アンド・ビルドなどの実施	実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	経常的経費における事務事業の見直し（検討数）	10	10	10	10

進捗管理シート						
R3年度 実施状況	上半期 計画	改善・課題点等の検討 主管課による実態把握及び改善・課題点等の検討 検討事項の審査		実績 既存事業の見直しについて各課へ照会 要求上限額配分作業実施 財政最適化に向けた取組開始 当初予算編成等検討開始		
	下半期 計画	審査結果に基づく当初予算などの編成		実績 当初予算における要求上限額の決定・通知 当初予算における経常経費の配分決定		
実施結果の 自己評価	評価	スクラップ・アンド・ビルドの徹底を図るため、当初予算編成前に経常経費を含めた既存事業の見直し（サマーレビュー）等を各所管において行い、財政調整基金の取り崩し額を前年度から引き続き抑制することができ、持続可能な財政運営を見据えた予算編成を行うことができた。				
	達成度	計画	4	目標	4	目標 (実績値) 13件
未達成の原因と 今後の取組						
今後の方向性	継続	コメント	時代の変化やニーズに合った事業を推進することができるよう、今後も、経常的経費を含む事務事業の検証を継続する。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標		III 妥当性	

「資料1-2 評価シート」で評価してください。

※経常的経費…義務的経費（支出が義務付けられている人件費、扶助費及び公債費の合計）のほか、物件費、補助費等で毎年度継続的に支出される経費のこと。
※スクラップ・アンド・ビルド…既存事業の見直しや改善、廃止を意識し、事業の再構築を図ること。

令和3年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）	
令和3年度上半期の 取組実績	<p>持続可能で安定した財政運営を維持しつつ、ポストコロナ社会を見据えた事業にも財源を投下できるよう、次のとおり、既存事業の見直し等を実施した。</p> <p>令和3年7月5日 既存事業の見直し等について各部へ照会 令和3年8月18日～20日、25日及び30日 11部61事業について市長、副市長と各部長によるヒアリングを実施</p> <p>上記を踏まえ、スクラップ・アンド・ビルドを徹底することなどにより、経費削減に努め、今後の予算編成につなげる。</p>
令和3年度下半期の 取組実績	<p>サマーレビュー等に基づき、当初予算における要求上限額の決定、通知等を行った。 また、サマーレビュー重点事業18事業のうち、13事業において経常的経費を含む事務事業を縮減し、事務事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底すること等により、財政調整基金の取崩額を前年度より1億円控えることができ、持続可能な財政運営を見据えた当初予算編成を行うことができた。</p>
今後の課題	<p>長引くコロナ禍により、財源不足や追加の感染症対応事業等が見込まれることから、更なる経費節減に努める必要がある。</p>

(参考)

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	改善・課題点等の検討 主管課による実態把握及び改善・課題点等の検討 検討事項の審査		実績	既存事業の見直しについて各課へ照会 要求上限額配分作業実施 財政最適化に向けた取組開始 当初予算編成等検討開始	
	下半期	計画	審査結果に基づく当初予算などの編成		実績	当初予算における要求上限額の決定・通知 当初予算における経常経費の配分決定	
実施結果の 自己評価	評価	スクラップ・アンド・ビルドの徹底を図るため、当初予算編成前に経常経費を含めた既存事業の見直し（サマーレビュー）等を各所管において行い、財政調整基金の取り崩し額を前年度より抑制等することができ、持続可能な財政運営を見据えた予算編成を行うことができた。					
	達成度	計画	5	目標	5	目標 (実績値)	20件
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	時代の変化やニーズに合った事業を推進することができるよう、今後も、経常的経費を含む事務事業の検証を継続する。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	5	II 目標	5	III 妥当性	4

実施計画調書

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート							
No.	11	取組項目	元金償還額を上回らない市債の発行				
所管課	財政課	関係課	全課				
取組内容	償還財源に多額の一般財源を充当することから、市政運営の根幹にかかわる事業を除き、市債は、公債費の元金償還額を上回らない発行額とすることで、健全財政を維持する（※）。						
期待される効果	償還財源に多額の一般財源を充当する公債費の削減						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	元金償還額を上回らない市債の発行		実施	実施	実施	実施	実施
	公債費の抑制		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	年度末の市債残高	421.0億円	418.5億円	416.0億円	413.5億円	411.0億円

進捗管理シート						
R3年度 実施状況	上半期	計画	主管課による事業の優先順位等の検討・決定 財政フレーム等の検討		実績	市債発行を伴う事業費について各課へ照会、 優先順位等の検討
	下半期	計画	検討結果に基づく当初予算等の編成		実績	市債発行を伴う事業を精査等する中で、元金償還 額を上回らない市債発行となる当初予算を編成
実施結果の 自己評価	評価	元金償還額を上回らない市債の発行に努め、年度末の市債残高を削減することができた。				
	達成度	計画	5	目標	5	目標 (実績値) 403.9億円
未達成の原因と 今後の取組						
今後の方向性	継続	コメント	健全な財政運営を維持するため、今後も、元金償還額を上回らない市 債の発行に努める。			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標	III 妥当性		

「資料1-2 評価シート」で評価してください。

※一般財源…使途が特定されない財源のこと（市町村税や普通交付税など）。
 ※市債…学校建設や道路整備のように一時的に多額の費用が必要となるときに、地方公共団体が国や銀行などから借り入れる資金のこと。
 ※公債費…地方公共団体が長期的に借り入れた資金（地方債）の元利償還金や、一時的に借り入れた資金の利子の支払いに要する経費。
 ※元金償還額…市債の元金返済額のこと。

令和3年度実施計画 進捗管理シート（詳細版）									
令和3年度上半期の 取組実績	<p>人口減少による税収の減や、少子高齢化による社会保障関係経費の増加等の課題に対応しつつ、健全で持続可能な財政運営を維持するため、現在の財政制度等が継続すると仮定して、今後、5年間の中期財政見通しを毎年度作成している。</p> <p>今年度の中期財政見通しを作成するにあたり、今後見込まれる事業等について令和3年6月10日付で各部へ照会し、健全財政を維持しながら市債の発行を抑制するため、普通建設事業費について、一定、目標を定めることとして検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期財政見通しにおける <table border="0"> <tr> <td>普通建設事業費の単年度平均目標額</td> <td>約25億円</td> </tr> <tr> <td>内、市債発行額の単年度平均目標額</td> <td>約20億円… (A)</td> </tr> <tr> <td>令和4年度～6年度までの元金償還額平均</td> <td>約38億円</td> </tr> <tr> <td>内、普通建設事業に係る元金償還額平均</td> <td>約30億円… (B)</td> </tr> </table> <p>元金償還額を上回らない市債の発行、(A) < (B)となる普通建設事業費の目標額を設定することで、着実に市債残高を減少させられるよう検討を進める。</p>	普通建設事業費の単年度平均目標額	約25億円	内、市債発行額の単年度平均目標額	約20億円… (A)	令和4年度～6年度までの元金償還額平均	約38億円	内、普通建設事業に係る元金償還額平均	約30億円… (B)
普通建設事業費の単年度平均目標額	約25億円								
内、市債発行額の単年度平均目標額	約20億円… (A)								
令和4年度～6年度までの元金償還額平均	約38億円								
内、普通建設事業に係る元金償還額平均	約30億円… (B)								
令和3年度下半期の 取組実績	<p>市債発行を伴う事業について、効率的な行政運営を見据える中で優先順位等を精査し、国府の補助金等も十分活用することで、元金償還額を上回らない市債発行となる当初予算を編成することができた。</p> <p>(令和4年度当初予算額)</p> <table border="0"> <tr> <td>歳入 22款 市債</td> <td>2,663,600千円</td> <td>… ①</td> </tr> <tr> <td>歳出 12款 公債費中、元金</td> <td>3,945,044千円</td> <td>… ②</td> </tr> </table> <p>①市債借入額 - ②元金償還額 = △1,281,444千円</p>	歳入 22款 市債	2,663,600千円	… ①	歳出 12款 公債費中、元金	3,945,044千円	… ②		
歳入 22款 市債	2,663,600千円	… ①							
歳出 12款 公債費中、元金	3,945,044千円	… ②							
今後の課題	元金償還額を上回らない市債の発行に努めることで公債費の抑制に努め、健全な財政運営を維持する必要がある。								

(参考)

進捗管理シート

R2年度 実施状況	上半期	計画	主管課による事業の優先順位等の検討・決定 財政フレーム等の検討		実績	市債発行を伴う事業費について各課へ照会、優先 順位等の検討	
	下半期	計画	検討結果に基づく当初予算等の編成		実績	市債発行を伴う事業を精査等する中で、元金償還 額を上回らない市債発行となる当初予算を編成	
実施結果の 自己評価	評価	元金償還額を上回らない市債の発行に努め、公債費を削減することができた。					
	達成度	計画	5	目標	5	目標 (実績値)	407.4億円
未達成の原因と 今後の取組	-						
今後の方向性	継続	コメント	健全な財政運営を維持するため、今後も、元金償還額を上回らない市 債の発行に努める。				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	4	II 目標	4	III 妥当性	4